

## 第 42 回家族会

2019 年 1 月 26 日土曜日に第 42 回目の家族会を開催致しました。

今回は『夜間頻尿のメカニズムと治療および対策』をテーマに、当院の泌尿器科の専門医である宮本達也先生にお話ししていただきました。



参加者は患者さん、ご家族合わせて 22 名、スタッフ 6 名の計 28 名でした。14 時の開始前から多くの方々が集まってきており、皆さんの関心の高さが伺えました。



宮本先生は講演の中で、夜間頻尿のメカニズムと原因をわかりやすくお話してくれました。その中で、頻尿となる原因は数多くあり、当然のことかもしれませんがそれにより治療方法は異なるので、治療は難しいとおっしゃっていました。

夜間のトイレの回数を少なくしようとして、水分を控える方は多いと思います。水分を控えることで、脳血管疾患のリ

スクが高まるといわれますが、最近の研究では水分を控えても脳血管疾患にはならないとの結果が出ているそうです。ただし、脱水になる可能性はありますので、喉が乾かない程度の水分摂取はしてくださいとのことでした。

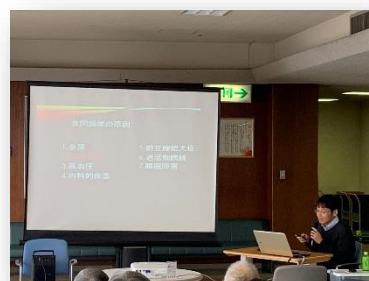


夜間頻尿があるかなあと思っても、なかなか泌尿器科のクリニックを受診するのは恥ずかしくて、誰に相談するべきか悩みますが、まずはかかりつけの主治医に相談すると良いそう

です。そして、何より大切なことは、『頻尿が生活にどれだけ悪影響を及ぼしているか』ということだそうで、頻尿だけれど、それが生活する上であまり支障がないと感じるのであれば、気にし過ぎも良くないとのことでした。

参加者の方々も質問が多く出ましたが、わたくし自身も聞きたいことがたくさんあり、質問させていただきました。

実はわたくしは毎回検診の際に尿潜血で引っかかるのですが、密かに前立腺肥大になるのではないかと心配しておりました。ですが、先生から尿潜血の多くは原因がはっきりしないことが多いことを聞いて安心いたしました。



ただし、当然重大な病気が隠れていることもあるので、皆様もご注意を！

文責 原田